



# 日車協連 SDGs宣言(案)




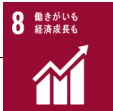






# キャッチコピー

考え中



# 目指すべきゴールとターゲット

ゴール	ターゲット
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。</p> <p>3.9 2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加により、水質を改善する。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。</p> <p>11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。</p> <p>12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>
 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<p>17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p>



# 交換から修理へ 廃棄物の排出抑制と修理費の低減で持続可 能なカーライフ

## アクションプラン

- ・高張力鋼板、樹脂パーツ、アルミパネルの修理技法を検証
- ・修理・交換比率の実態把握した上で、2030年までの目標比率を設定

## パートナーシップ

損害保険会社、自動車メーカー

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 車体整備士資格の取得と高度化車体整備技能講習の推進

## 新人・女性・外国人技術者向けの教育体制

### アクションプラン

- ・車体整備士資格の取得推進し、2030年までの目標取得者数を設定
- ・時勢に沿った高度化車体整備技能講習を企画・立案し、継続開催
- ・業界統一の教育マニュアルとスキルガイドの作成

### パートナーシップ

国交省、自動車整備学校

4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



10 人や国の不平等  
をなくそう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 自動車メーカーの修理書に基づいた車体整備 将来を見据えたMaaS・自動運転車への対応

## アクションプラン

- ・ADAS搭載車両を確実に整備できる体制の構築
- ・次世代モビリティに対応した車体整備のあり方を官民で協議

## パートナーシップ

国交省、経産省、自動車メーカー



# 水性塗料・低VOC塗料、特化則対応製品への 切り替え 労働安全衛生法をはじめとした各種法令遵守

## アクションプラン

- ・使用材料の実態把握をした上で、2030年までの水性塗料・低VOC塗料等の目標使用率を設定
- ・法令遵守を励行するためのコンプライアンスチェックシートを作成

## パートナーシップ

厚労省、塗料メーカー、TUV

3 すべての人に  
健康と福祉を



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 廃棄物処理法及び自動車リサイクル法に基づいた適切な処理 リサイクルパーツの活用を推進

## アクションプラン

- ・廃棄物の適正処理のためのスキームを確立
- ・リサイクルパーツ使用率の現状把握をした上で、2030年までの目標使用率を設定
- ・CAR to CARリサイクルの実現に向けた研究

## パートナーシップ

損害保険会社、リサイクル団体(NGP・JARA等)

